

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 内視鏡チーム



お知らせ

坂総合病院・坂総合クリニックの公式Instagramを開設!

これまでホームページで発信してきた情報をはじめ、当院をより身近に感じていただけるようなコンテンツを発信していきます。

皆さまからの「フォロー」や「いいね」をお待ちしております。
Instagramを通じて、地域の皆さんとより温かいつながりを築いていきたいです。

■「安心」と「信頼」の情報: 季節ごとの健康アドバイスや、健康診断、診療に関する専門的な情報をわかりやすくお伝えします。

■「親しみ」と「日常」の風景: 普段は見ることのできない診療科の密着動画やスタッフの人柄が伝わる院内のほっこりする日常を紹介します。

■「地域」とのつながり: 当院が主催する市民公開講座やイベント情報など、地域連携に関するお知らせをお届けします。

公式Instagram 

こちらもチェック/ 産婦人科 Instagram 

こちらもチェック/ 在宅医療室 Instagram 

診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただきご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30~16:30 (小児科のみ8:00~)
 - 土曜 8:30~11:30 (小児科のみ8:00~)
- ※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

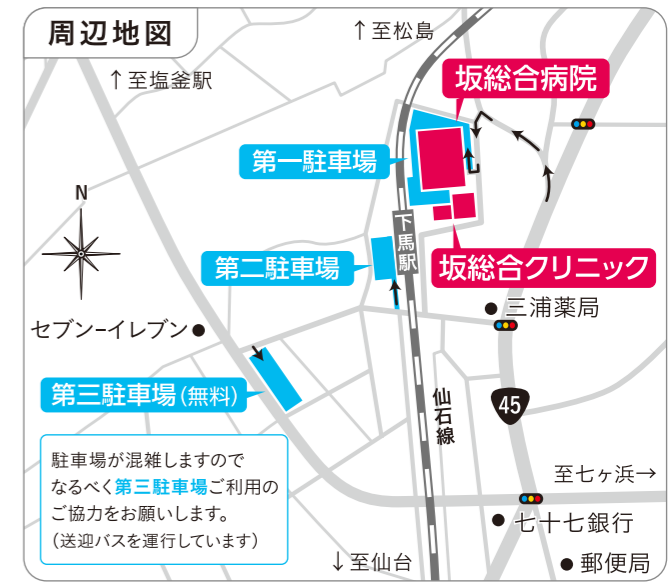
詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

賑やかな雰囲気の中で撮影に臨んだ内視鏡チーム。(後列左から)「辛口が好み」だという権藤先生は日本酒。鹿島先生はその内容にとっても感動したというアニメ「チ。-地球の運動について-」を象徴する地球儀。前列左の村上さん・右の宮澤さんは、共に夢中だというシール帳を持参してくれました。中央の繁泉さんが持っているのは寺田医師の愛猫の写真。内視鏡センターの待合室にもこの写真が飾られています。

●表紙撮影/坂総合病院



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO

坂総合病院 広報誌「さかそう」
2026年4月1日発行

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5
<https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



強固なチーム体制で、地域の内視鏡治療を支える



時代の先を見据えて医療機器を揃えるなど、内視鏡センターの基礎を築いた船山医師(写真右)。豊かな環境の中、若手医師たちが気風を受け継ぐ

……
 毎回テーマを変え、坂総合病院の今を発信。
 今号は内視鏡チームをピックアップします。
 ……

特集

内視鏡チーム

胆管・膵臓領域の専門医である
 権藤医師が加わった内視鏡センターでは、
 より手厚い治療が行えるようになりました。
 そんな内視鏡センターの現状と、
 患者さんの安全・安心のための取組み
 について聞きました。

——内視鏡センターでは、どのような検査や治療を行っているのですか？



鹿島 ルーチン検査と呼ばれる検査を含めた検査は、午前中に胃カメラ、午後到大腸カメラを3つの検査室に分かれて行っています。多く見つかる大腸のポリープのうち、日帰りで行える病変の場合には発見次第その場で切除まで実施します。午後の時間帯には早期胃がんを取る治療や、権藤先生が専門とする胆膵領域の検査・治療を、内視鏡チームで力を合わせて実施します。

胆膵領域では、ERCP(内視鏡的逆行性胆膵管造影法…口から内視鏡を挿入した後、十二指腸から胆管・膵管にカテーテルを通して造影剤を注入したり、結石や腫瘍への診断や治療を行う)や、EUS(超音波内視鏡…内視鏡の先端に搭載されているエコーから、胆道や膵臓を詳細に観察し、必要なら専用針で組織を採取したり、ステントを留置する)を行っています。権藤先

生が坂総合病院に着任してからは、これまで大学病院などをお願いしていた高度な治療にも取り組んでいます。



権藤 日常の検査や処置に加えて、内視鏡チームの看護師は24時間体制で検査や処置を行っていることも伝えたいです。私はこの病院に来てからまだ1年も経っていませんが、内視鏡センターの医師と看護師は、呼ばれたらとにかくすぐにでも駆けつけるネットワークの軽さが印象的でした。

——胆膵領域を専門とする権藤先生が坂総合病院に着任してから、内視鏡センターで提供できる治療の幅はより広がったのでしょうか。



権藤 当院では私の着任後に胆膵領域の特殊処置を導入することになりましたが、新しい領域を押し広げることに拒否反応を示すスタッフがいるのではないかと内心思っていました。新しい業務が増えますし、患者さんに起きる偶発症も怖い

です。それでも内視鏡センターの看護師たちは新しい処置を進んで理解しようと勉強会を開くなどの準備を整えてくれました。それまでの業務に加えて新たに時間を割いてくれている姿勢を目の当たりにして、胆膵領域の専門医としてだけでなく、内視鏡チームのひとりとしてのミッションだと思いがら日々の治療に携わっています。



船山 消化器科の中で必要になる処置もいくつかあり、ここ10年で医療技術がものすごく進んでいる分野でもあります。そんな状況であるにも関わらず、我々は長年使い慣れた器具を刷新することなく使い続けて、処置を行っていた状況にありました。しかし東北医科大学に内地留学に出た鹿島先生が持ち帰った技術・ノウハウを取り入れながら、現代の趨勢へのキャッチアップに努めつつ、今に至ります。さらに今では、権藤先生が着任したことで坂総合病院として提供できることが増えました。胆膵領

域は塩竈管内ではほぼ当院しか対応していませんし、何より、これまで仙台の病院で検査や治療を行っていた高齢の患者さんを地元で治療できるようになったのは大きな変化だと思います。権藤先生が着任する3年前に組織採取や治療にも対応しうるEUS機器を導入して、細々ながら診断・観察をスタートしていたことも今の治療体制につながった一因かもしれません。対応できる内視鏡治療の幅が広がったことで、まったく別の病院になったような気もしています。



鹿島 船山先生が環境を整えて、私は内地留学に向いたことで種を蒔き、看護師さんたちが水を与えてくれた結果、最後には権藤先生を迎え入れることができました。まさに、坂総に花SAKASOがですね！



船山 内視鏡センターは臨床工学技士、クラークの誰が欠けても成立しません。
権藤 胆膵領域を含め、消化器内科の処置はひ

とりではできないことがたくさんあります。看護師が介助に付く治療はもちろん、医師同士がペアにならないとできない治療があるなかで、船山先生と鹿島先生は率先してペアを組んでいたこととお互いのレベルアップにつながっているのを感じます。実際、鹿島先生の場合は「相棒」と呼んでいるくらいです（笑）。この



看護師の発案で行った、CT検査時の急変シミュレーションの様子。振り返りを行い、現在は急変時フローチャートの作成を進めている。

環境があれば、次はきつと特殊な処置も普遍的な処置に変えられる未来があると思っています。

——内視鏡センターでは患者さんの不安を軽減するために待合室にリラクゼーション音楽を流したり、心が和むような装飾に配慮したりしていると聞きました。他にも患者さんのために行っている取組みはありますか？



近藤 今年、内視鏡センターの看護師たちで患者さんの満足度を上げるための取組みを医師とともに行いました。環境整備や患者さん対応を学ぶ学習会を開いたほか、患者さんへ向けたアンケートもそのひとつです。約200人の患者さんにスタッフからの案内や説明は適切だったかなどの項目を回答していただき、その結果を内視鏡センターの在り方について振り返る機会につなげています。

看護師はこの場所に配属されたから業務をこなすというスタンスではなく、誰もが内視鏡技術免許を取得した上で仕事をした

いと考えてくれる志の高い人ばかり。現在は5名のスタッフが資格を取得していますが、今年もまた数名が自発的に資格取得に取り組んでいるところです。



鹿島 アンケートの結果から患者さんに反映されていることはすでにあります。例えば、「きょうの検査医はとても楽だったよ」という声です。その背景には、看護師たちが患者さんへ向けた気配りや声掛けがあると思っています。結果的に医師が患者さんからお褒めの言葉をいただけてしまい申し訳ないのですが、看護師の取組みが患者さんに届いているという実感がありますね。

——今後、内視鏡センターとして目指す理想の姿はありますか？



近藤 私たち看護師は人のケアに当たる裏方の存在。この体制を崩さないように業務に当たることが、今までもこれからも変わらない課題だと思っています。その課題に向けて、チーム一緒に

取り組んでいきたいです。



鹿島 最近では鎮静内視鏡という苦痛が少ない状態で行う検査が普及してきました。当院でも長時間を要する精密検査や治療内視鏡を中心に導入していますが、その他の検査でも選択できるようにしてほしいというニーズを実感しています。マンパワーの問題などもあります。鎮静内視鏡や保険適用された短時間作用型の薬剤などを導入することで、看護師の負担軽減にもつながると考えてい



シミュレーションの様子は動画で記録し、スタッフ同士、互いに声を掛け合うこと「定期的に訓練を行うべき」といった意見は、今後の現場に活かされていく

ます。そして何より、内視鏡センターのスタッフが日々がんばっていることを院内だけでなく地域にも知らしめたい。それが今の課題です。



権藤 どんな病院でも医者と看護師の仲がいい職場は仕事が円滑に進むものだと思います。当院の内視鏡センターはすでに医師同士も、医師と看護師の仲もいいですが、くだらないような会話も重ねつつ、積極的に甘えて、話しかけて、これからもずっと良好な関係を続けていきたいです。



船山 私たちはこの地域で24時間体制の内視鏡診療ができる病院です。地域における内視鏡診療の最終ラインとして機能するために努めること。課題はそこに尽きると思っています。今回は難しい治療の話も出ましたが、外来診療や救急対応、胃がんや大腸がんを早期に発見して治療するスクリーニング検査の任務もあります。検診から治療まで、地域で規範になるような診療を続けたいと肝に銘じ、スタッフと共有しています。

• SAKASO TIPS •

安心して受けられる胃がん検診へ

2026年度より、自治体が行う胃がん検診において内視鏡検査が選択できるようになります。バリウム検査に比べて体への負担が少ないため、検査のハードルが緩和されるはずです。

- 担当:内視鏡センター長 船山広幸
消化器科長 大森崇博
- 事前予約が必要です。
坂総合病院・坂総合クリニックの窓口か診療予約コールセンター(022-361-8288)にご連絡ください。
- 「受診券/問診表」「健康保険証」「お薬手帳(お持ちの方のみ)」を持参してください。
- 朝食はとらないでください(透明な水分は朝8時まで摂取可)。
- 朝の定期薬は、糖尿病薬以外であれば服薬できます。
- 自治体の規定により鎮静は行えません。付き添いは不要で、来院の交通手段は問いません。検査後1時間ほどで飲食可能です。

〈担当医からの地域の皆さんへ〉

胃がんで命を落とさないためには、定期的の内視鏡検査を受けることが大切です。当院では大ベテランの医師が検査を担当しますので、心配せずにご来院ください。外来では相談にも応じます。詳細は病院HPをご覧ください。

胃がん検診の注意点

- 50歳以上が対象
- 初年度は偶数年齢の方のみ検査可能。以後、前年度に検査を受けていない方が対象
- 自己負担料金については自治体からの案内を確認

坂総合病院
「地域連携の会」を
開催します
2026年5月29日(金)



地域連携医の皆さんをご紹介するこのページ。これまで数多くの病院やクリニックにご登場いただきました。こうしたつながりをより深いものにするべく、この春「地域連携医の会」を開催します。当日は当院の医師による講演のほか、連携医の皆さんと意見交換を交えながら親睦を深める場を設ける予定です。地域の皆さんに安全・安心で手厚い医療が提供できるよう、これからも地域医療の担い手同士で強固な連携を築いてまいります。

坂総合病院「地域連携の会」

- 日時 2026年5月29日(金)
18時30分～21時00分(予定)
- 場所 ホテルグランドパレス塩釜(塩竈市尾島町3-5)
- 内容 ①講演「当院における胆道ドレナージ術の現状」
消化器科医長 権藤興一
②意見交換・懇親会



**地域連携室
営業時間変更の
お知らせ**

(2026年4月1日から
営業時間を変更します)

平日・8時30分～17時00分
(時間外のご連絡は留守番電話
に切り替わります)

土曜日・休業

土曜日は連携室スタッフも
不在となります。緊急で
の患者さんのご紹介は坂総
合病院代表電話(0221-
36515175)にご連
絡のうえ、紹介希望の診療
科をお伝えください。検査
および診療の予約は平日の
営業時間内での対応になり
ます。なお、当日の臨時検
査はお受けできません。

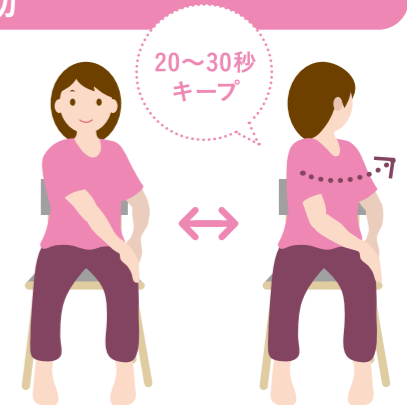
#22 自宅で行う簡単ストレッチ⑩

「みやぎ東部健康福祉友の会」が毎月オンラインで開催している「自宅で簡単健康ストレッチ」。そこで紹介されている運動を連載で紹介しします。今回は、腰回りに効果的な運動をお伝えします。

腰の筋肉を伸ばす運動

左のももや左のお尻の側面に両手を揃えて添え、

- ① ゆっくり息を吐き出しながら、左後方へ振り向くように上半身を捻っていく。
- ② 右側の腰が伸びている感覚を保ちながら20～30秒キープ。
- ③ ゆっくり息を吸いながら上半身を戻していき、逆側も①～③を同様に行う。



「運動療法センターのびのび」とは…?

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

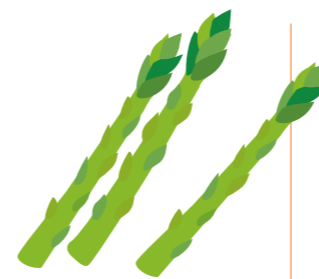
※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています

栄養手帖

—食養室だより—

春の旬を味わおう!

寒い冬の間、じっとおいしさを蓄えていた春野菜が食卓へ並ぶ季節になりました。栄養面とおいしさ、そのどちらもおすすめの5品を紹介します。



アスパラガス

毒性のアミノ酸を体外に排出する作用を持つアスパラギン酸が豊富。体内の余分な水分も排出されるため、むくみ解消効果が期待できます。



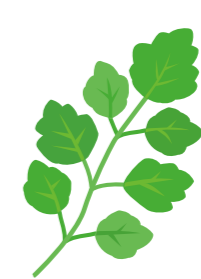
セロリ

バランスよく含まれているビタミンの中でもビタミンKが豊富。ビタミンKは油に溶けるので油と一緒に摂取すると吸収率がアップします。



タケノコ

便秘解消、大腸がん予防、血糖値の上昇を緩やかになるなどの効果が期待できる食物繊維が豊富。満腹感を感じやすくなるため食べ過ぎ防止効果も。



セリ

「春の七草」のひとつ。アンチエイジングや美肌づくりに効果のあるビタミンCや、皮膚や粘膜の健康を保つβ-カロテンが豊富に含まれています。



春キャベツ

一般的なキャベツに比べて甘く柔らいのが特徴。キャベジンと呼ばれるビタミンUという成分が多く、胃腸の不調改善が期待できます。